

経営比較分析表（令和3年度決算）

石川県白山石川医療企業団 公立つるぎ病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	16	対象	ド透	救臨へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	11,634	-	第2種該当	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

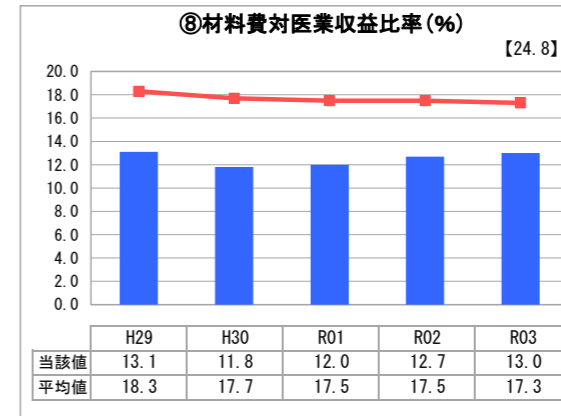
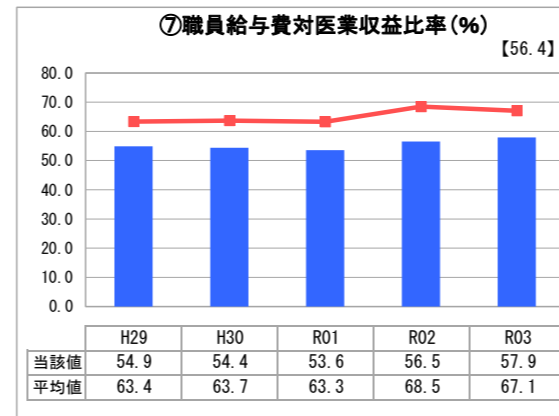
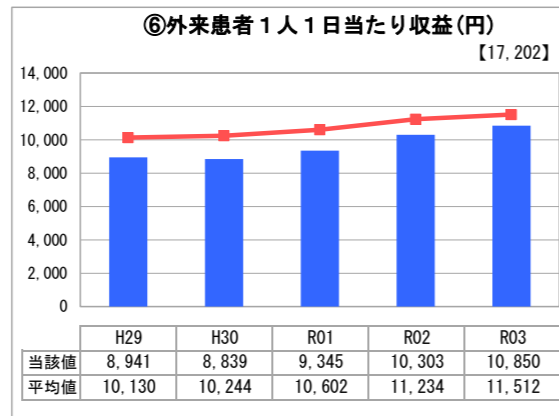
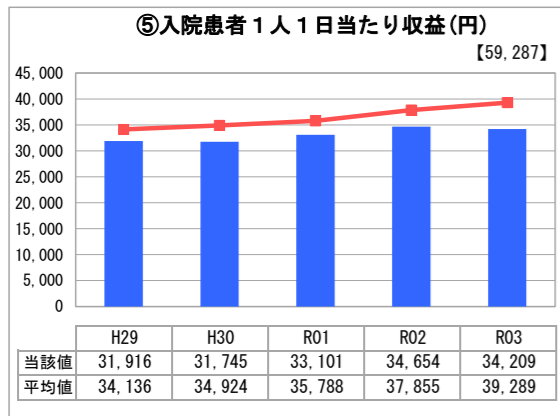
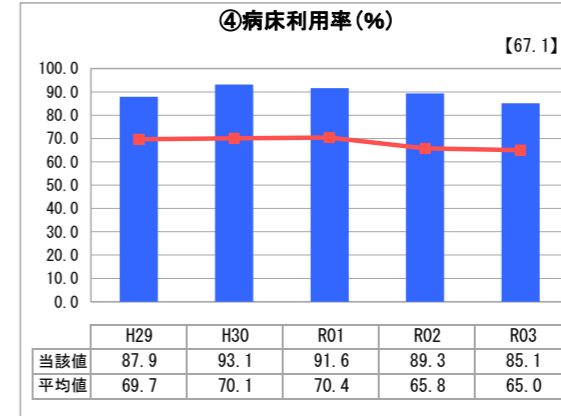
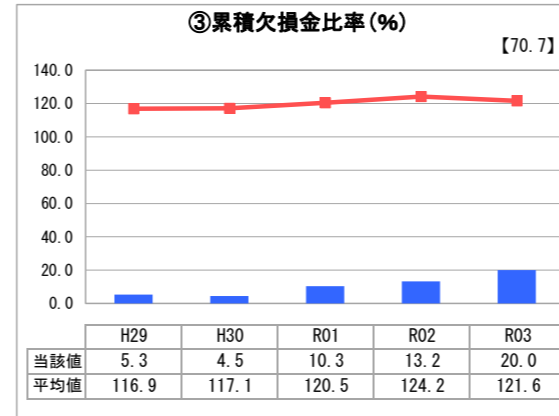
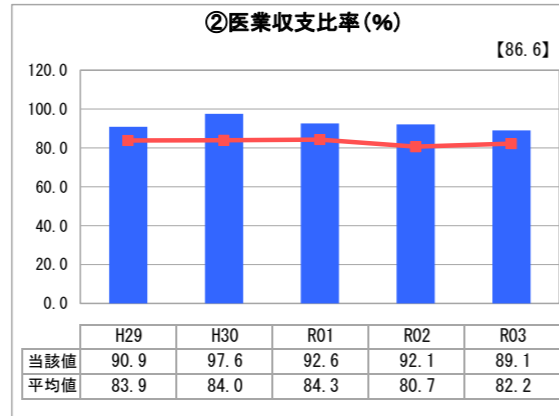
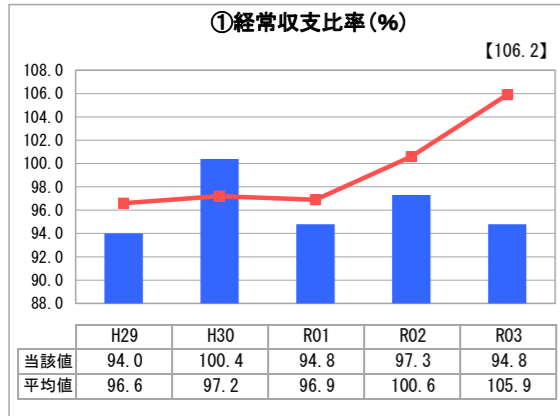
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
152	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	152
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
152	-	152

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

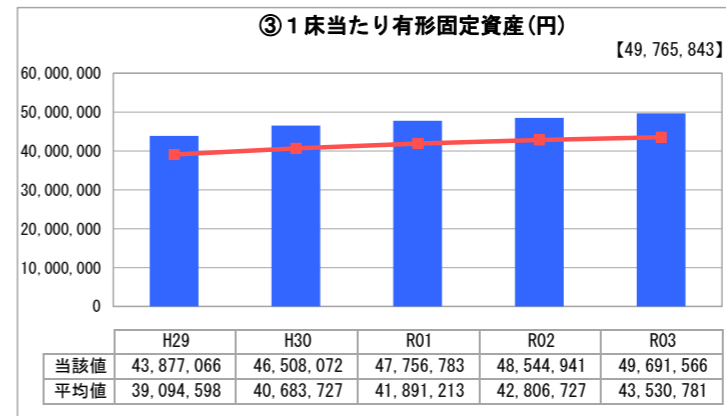
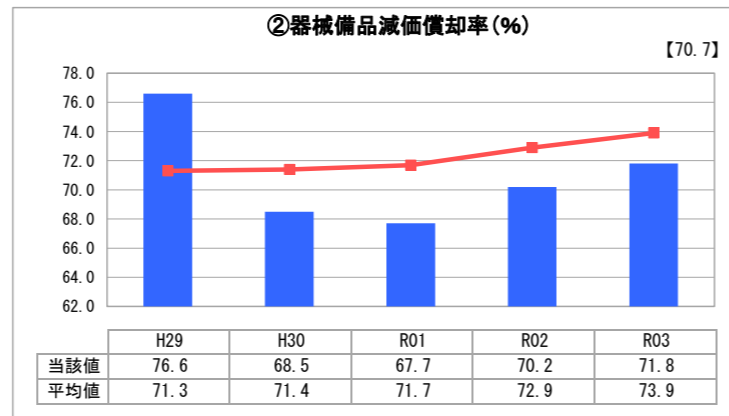
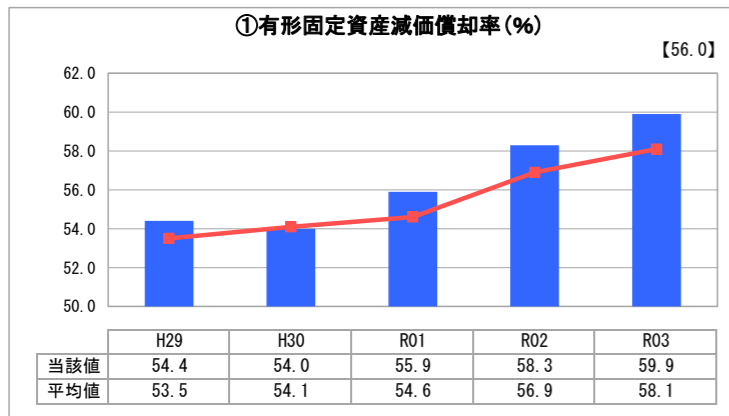
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

当院は「在宅療養支援病院」「へき地医療拠点病院」として、鶴来地区から白山ろく地域全体に至る広大な診療圏をカバーしている。無医地区を含む当該診療圏においては、医療機関が極めて少なく、当院からの巡回診療の他、当院が一体運営している吉野谷及び中宮、白峰診療所、他の近隣医療機関と連携するなど、へき地医療において中心的役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、病床利用率に低下傾向はあるものの、入院・外来ともに患者一人当たりの単価は緩やかな上昇傾向を示している。また、医業収支比率は類似病院平均値以上を維持している。外来においてはオンライン診療やAI問診を活用し効率性の向上、入院については入退院調整部門が地域の医療機関と連携を密にすることで他施設からの転院を促進するとともに、ショートステイなどの附属施設を活用し、状況に応じた効率的な運用をおこなうことで収益の向上につなげたい。

2. 老朽化の状況について

施設・構築物等が法定耐用年数を徐々に迎えている。法定耐用年数を迎えている医療機器に関しては、病院収支や医療状況などを考慮し計画的な機器購入を行っている。空調設備に関しても老朽化が進んでおり、計画的に更新を行っている。また、1床あたりの有形固定資産が多いのは、ショートステイ、通所リハビリテーションセンター等の病院附属施設があるためである。

全体総括

当院においては、鶴来・白山ろく地域における地域包括ケアシステム（住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体に提供）を地域の利用者に応じるように改善しながら、既存の回復期などの医療機能に加え介護機能（ショートステイ、通所リハビリ・研修・訪問リハビリ）も併せ持つことで、効率的な社会資源の活用と、地域における医療・介護提供体制の飛躍的な向上を目指すものである。今後もへき地における医療・介護サービス提供体制の基幹的施設となるよう包括的に機能強化に努める。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。